

全買連ニュースレター 第2号

ZENBAIREN News Letter

2017/4/13

○新年度を迎えて

今年の桜は、開花宣言はあったものの見ごろまで気をもたされ、見ごろの時に冷たい雨に見舞われましたが長持ちしているようです。

「三日見ぬ間の桜かな」という言葉がありますが、これを満開から散るのが早いととるか、つぼみから満開までが早いととるかです。私は後者で桜を見ます。まだこれからという期待が持てるからです。

新年度が始まりました。事務局長を承って6ヶ月、初めてのことばかりで皆様にはご迷惑をおかけしたかと思いますが無事年度末を迎えることが出来ました。

財務上は厳しい状況ですが決算も終わり、4月14日の監査会を得て、理事会で総会議案を審議していただき、5月26日名古屋での総会を迎えることになりました。

今年の総会は愛知県木材買方協同組合さんにお世話になります。本丸御殿の観覧会もセットされています。会場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

全買連事務局長 草野洋

○木製縁台の寸法

創刊号で東京都木材買方組合連盟に所属する東京木材市場買方組合（早川金光理事長）が目黒区立の小学校8校、渋谷区立の小学校18校に29台のヒノキの縁台を製作して寄贈した記事を書きましたが写真は縁台の姿です。

部材の寸法は？との問い合わせもあります。仕様を詳細にお知りになりたい方はご連絡いただければ情報提供します。



○街角木材利用

全買連事務局のある新木場千石橋南のバーベキュー公園がリニューアル中です。東京都港湾局の発注のようですが木材を多く使っていてうれしくなりました。花見には間に合いませんでしたがこのような取組みが方々で行われ、山が元気になるといいですね。ガードレールや車止め歩道側のフェンスなども木材で十分だと思います。



桜が咲き始めた公園

○木になる木の話

朝日新聞に気になる記事を見つけました。それが下の記事です。

奈良興福寺にある天平彫刻の国宝「阿修羅像」の木材の使い方についての記事で、興福寺の仏像 13 体のうち 12 体の芯木はヒノキだけど阿修羅像はヒノキのほか、腕にスギ、最前部左腕手首にはキリが使われていたとのこと。仏像の特徴から腕の重さを減らそうとキリを使ってあるとのこと。木材の樹種毎の性質を知ってその使い方を変える古の人の知恵がうかがえます。でも、考えてみるとそれが今に伝えられているのですね。

阿修羅像（奈良興福寺）

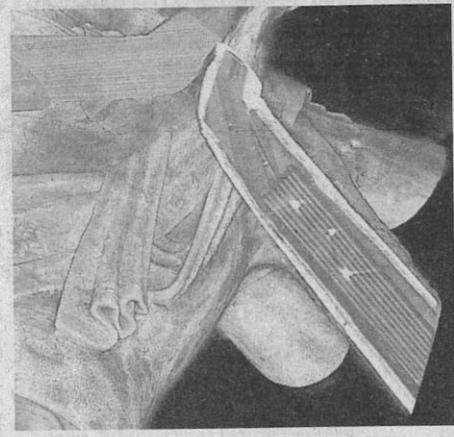


阿修羅像 中に3種の木材

天平彫刻の傑作 奈良・興福寺の国宝・阿修羅像(734年、脱活乾漆造)について、像を内部から支える芯木に3種類の木材が使われていたことが、九州国立博物館(福岡県太宰府市)など研究チームの調査で分かった。X線CTスキャン画像の解析から判明し、専門家からは6本ある腕の芯木を軽くする工夫だったとの見方も指摘されている。

研究チームは、奈良時代に興福寺西金堂に収められた八部衆・十大弟子像のうち、阿修羅像を含め、ほぼ全身が残存する13体を解析。このうち12体の芯木はいずれもヒノキに限られた

腕を軽くする工夫? CT解析



が、阿修羅だけがヒノキのほか、腕にスギ、最前部の左腕の手首から先にはキリが使われていたことが分かった。

CT調査で得られた芯木内部の密度のデータと、木目の特徴などから樹種が特定できたとしている。腕の先はX線の照射範囲

囲が狭く、解析できたのは前側左手首にすぎなかったが、残る5本の手首もキリ材の可能性があるとみている。

解析に加わった仏師の矢野健一郎さんは「腕を、重いヒノキにすると、釘でとめる胸の芯木に負担がかかる。軽い材料で腕の重さを減らそうと考えたのでは。手首のキリ材もさらに軽い木材を追求した結果だと思う」と話す。(編集委員・小滝ちひろ)

阿修羅像の最前部の腕を斜め下から見上げたCTスキャン画像。左手首(キリ)と腕(スギ)では木目が違うことが確認できる。興福寺提供

○お知らせ

全買連関係の行事予定

①理事会及び監査会開催

日時：平成29年4月14日（金） 監査会 11時～12時 理事会 12時～15時半

場所：KKR ホテル名古屋

主な議題：平成28年度決算監査

平成29年度事業計画及び収支予算案

表彰選考委員会

②全買連通常総会開催

日時：日時 平成29年5月26日（金） 11時～

理事会 13:30～14:15

総会 14:30～15:30

懇親会 17:00～19:00

場所：総会 ウエスティンナゴヤキャスルホテル

名古屋市西区樋之口町3番19号

理事会 能楽堂

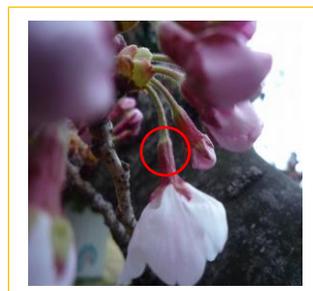
*11:15～12:15に本丸御殿観覧会が予定されています。

*各買方協同組合には総会資料（各地区状況報告、表彰者推薦、勲章等受賞者調査、組合員数調査）をお願いしております。

編集後記

そろそろ桜が散り始めました。皆さんは町中で花びら（花弁）でなく花（花冠）全体がおびただしい数で落ちているのを見たことがありますか。これは雀が花柄の蜜を含んだ付け根（写真○）を食べるためにちぎり取ったものです。従来ヒヨドリで見かけた行為でしたが雀もまねをしだしたようです。桜の花の付け根には蜜があるので冬の間の栄養不足を補っているのでしょう。実際食べてみるとほんのり甘く桜の香りがします。

彼らにはどの木の蜜が多いか分かっているようで、ある木に集中していて、ソメイヨシノよりオオシマザクラが良く食べられています。



全買連ニュースレターでは各地の情報、原稿を募集しています。